

日々の練習の成果を披露。消防団員が消防操法競う

高島市消防操法訓練大会結果

7月13日(土) 消防本部で高島市消防操法訓練大会が開催されました。

消防団員は日頃から消防ポンプ自動車や小型ポンプなどの基本操作をはじめ、各種の訓練を重ね、「かけがえない生命・財産を自分たちの手で護る!」という崇高な精神の下、日々災害に備えています。

その一環としてこの訓練大会を実施しています。今年の大会には、各地域の代表12チームが出場し、消防操法技術を競い合いました。成績は次のとおりです。



《ポンプ車の部》

優勝・朽木分団 第2位・新旭第1分団
第3位・高島第2分団

▼個人最優秀者

- 指揮者 氏王 友明 (朽木分団)
1番員 勝身 善幸 (今津第1分団)
2番員 辻井 元司 (朽木分団)
3番員 増本 靖之 (朽木分団)
4番員 俣野 長之 (朽木分団)

《小型ポンプの部》

優勝・朽木分団 第2位・新旭第2分団
第3位・今津第2分団

▼個人最優秀者

- 指揮者 村田 哲雄 (朽木分団)
1番員 田邊 貞旭 (新旭第2分団)
2番員 増井 博之 (新旭第2分団)
3番員 松本 文和 (新旭第2分団)

※敬称略



優勝チーム(ポンプ車の部・小型ポンプの部とも朽木分団チーム)は、8月4日(日)に東近江市の滋賀県消防学校で開催された滋賀県消防操法訓練大会に出場され、ポンプ車の部4位、小型ポンプの部9位と好成績を収められました。(消防本部)

自殺の原因 (警視庁統計2012年より)

- 第1位. 健康問題 (48.0%)
第2位. 経済、生活問題 (18.4%)
第3位. 家庭問題 (14.4%)
- 《健康問題の詳細》内訳は…
- うつ病 43.3%
 - 統合失調症 8.4%
 - アルコール依存症 1.7%
 - その他精神疾患 9.1%
 - 薬物乱用 0.3%
 - 身体障がい 2.1%
 - 身体の病気 33.0%
 - その他 2.0%
- このころの健康問題が **62.5%**

日本では年間約3万人の人が自殺で亡くなっています。その原因の第1位は「健康問題」です。「健康問題」の中でも、「このころの健康問題」が大きく関係していることが警視庁の調査で明らかになっています。厚生労働省もそのような実情をふまえ、がん・脳卒中・心筋梗塞・糖尿病の4つの疾患に、うつ病などの精神疾患(このころの健康問題)を加えた5つの疾患を重点的に取り組むべき「五大疾病」と定められました。自殺を少しでも防

9月10日から16日までは 自殺予防週間です



知っておいてほしい 基本認識

ぐためには「自殺」について、正しく理解することが大切です。

●追い込まれた末の死

自殺は、いくつもの悩みや苦しみを抱え「死ぬことで悩みが解決できる」「死ぬしか方法はない」と思い込んでしまうような状況の時に起こると言われています。「本当は生きていたい」「死にたくない」と思っている、心身ともに疲れきっていて、周りが見えにくくなっています。

●悩みを抱え込みながらも サインを発しています

悩んでいる人は、「辛い」「もうだめだ」というような発言をする。食事の量が減るといった直接的なサインや、急に周囲との関係を断つ・普段より疲れた顔をしているといった間接的なサインを発して

いることが少なくありません。周りの人が「いつもと違う」と気づいたとき、まずは「何かあった?」「どうかした?」と声をかけることが重要です。

●相談窓口があります

サインに気づいても自分ひとりでは解決できないと思う時、また、自分自身がたくさんの悩みを抱えて誰かに話を聞いてほしいと思う時は、身近な相談窓口へ相談してください。相談窓口では関係機関と連携して、悩みを引き起こすさまざまな原因や、うつ病等のこのころの健康問題に対する適切な治療について、皆さんと一緒に考えます。

自殺は身近にある問題です。声かけをしたり、話を聴いたりすることも大切ですが、何かできるかもしれないという気持ちで自殺予防への大切な第一歩です。市民一人ひとりが「気づき、つなぎ、見守る」行動で、大切な人のいのちを守るができます。

- 閻障がい福祉課 ☎(25) 8516
- 閻健康推進課 ☎(25) 8078

～「高島こどもの宿」を实践された地区を紹介します～

朽木宮前坊区 7月11日(木)～13日(土) 2泊3日



小学4年生から6年生までの6人の子どもたちが、宮前坊集会所に寝泊まりしながら学校に通学しました。地域の大人たちが見守る中で、食事の用意や後片付けをするなど、みんなで協力しながら、自立した生活を送ることができました。夜には、地域の方から昔話を聞いたり、抹茶を飲んだりして、楽しいひと時を過ごしました。

「高島こどもの宿」(通学合宿)の実施地区を募集しています!

「自分のことは自分でやる」「仲間づくり」そして「地域の子どもは地域で育てる」ことをねらいとして、高島市教育委員会では「高島こどもの宿」を推進しています。現在、実施していただく地区を募集しています。実施する場所、費用、合宿時の生活全般についてなど、詳しくは担当者が説明に伺います。まずはご連絡ください!

閻青少年課 ☎(32) 4458

7月17日(水)～19日(金) 2泊3日 安曇川広瀬小学校区



小学4年生から6年生までの23人の子どもたちが、下古賀公民館と下古賀草の根ハウスに寝泊まりしながら学校に通学しました。23人という大家族で、普段なかなか経験できない集団生活を経験することができました。リーダーシップを発揮して、みんなをうまくまとめる子どもたちもいて、頼もしく感じました。夜には広瀬小学校できもだめしをするなど大いに盛り上がりました。

参加した子どもたちからは「家の手伝いをするようにしたい」「自分のことは自分でしょうと心がける」といった感想が寄せられています!

●このころの悩みに困ったときの相談窓口●

相談内容の秘密は厳守します。あなたは決して一人ではありません。

こころやからだの不調の相談

- 高島保健所 ☎(22) 2419
- 県立精神保健福祉センター ☎077 (567) 5010
- 高島市役所 マキノ保健センター ☎(27) 1128
- 今津保健センター ☎(22) 5101
- 新旭保健センター ☎(25) 8110
- 安曇川保健センター ☎(32) 4413
- 高島保健センター ☎(36) 8008
- 朽木支所 ☎(38) 2332
- 健康推進課 ☎(25) 8078
- 障がい福祉課 ☎(25) 8516

こころの悩みの相談

- 滋賀いのちの電話 ☎077 (553) 7387
受付日・時間: 金～日 10時～22時
- こころの電話相談 ☎077 (567) 5560
受付日・時間: 月～金 10時～12時、13時～21時 (土・日・祝日・年末年始を除く)
- 高島こころのつえ相談室 ☎0120 (874) 756
受付日・時間: 水・木 13時～17時
- 多重債務(借金)に関する相談
- 高島市生活相談課 ☎(25) 8125